

## 事業所自己評価シート

## 職員による自己評価

## ① 環境面・体制整備

- ・利用児童とスペースの関係は丁度良い。

## ② 業務改善

- ・保護者の意向を把握し、業務改善に繋げている。
- ・職員の資質向上を行なうために、研修の機会を確保している。

## ③ 適切な支援の提供

- ・子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールは使用していない。
- ・活動プログラムが固定化されないように工夫している。
- ・平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している。
- ・日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に繋げている。

## ④ 関係機関や保護者との連携

- ・学校との情報共有を適切に行なっている。
- ・健常児との交流はしていない。

## ⑤ 保護者への説明責任等

- ・家族からの相談に対し適切に対応している。
- ・保護者会としての活動はしていない。
- ・苦情について適切に対応している。

## ⑥ 非常時等の対応

- ・マニュアルの整備がされていない。
- ・避難訓練は行っている。
- ・ヒヤリハット文書に残している。

## 保護者による評価

29 名回答

## ① 環境・体制整備

- ・スペースは十分に確保されている。29 名
- ・バリアフリーの配慮は 6 名がどちらとも言えない。

## ② 適切な支援の提供

- ・健常児との交流。はい以外 21 名。

## ③ 保護者へのせ事業所からの情報発信

- ・保護者会開催及び保護者同士の連携。どちらとも言えない 9 名。
- ・苦情の対応。どちらとも言えない。5 名
- ・定期的な活動概要や行事等の保護者への発信は出来ている。29 名

## ④ 非常時等の対応

- ・マニュアルの整備。どちらとも言えない。3 名。
- ・定期的な避難訓練は行われている。29 名

## ⑤ 満足度

- ・事業所の支援に満足している。 29 名

## 事業所内での分析

## 【共通点】

- ・活動のスペース場所の確保が十分だが、バリアフリーの配慮の工夫はどちらとも言えない。
- ・活動のプログラムが固定化されないような工夫がされている。
- ・健常児との交流がない。
- ・保護者会の開催等がない。
- ・マニュアルの整備がされていない。
- ・避難訓練の実施をしている。

## 【相違点】

- ・苦情の対応

分析・検討してみて…

### 事業所の改善点

### 事業所の強み

- ・職員の定着率が良い。
- ・子供の定着率も良い。
- ・1ヶ月毎にプログラムを計画、子供に周知して準備を促す。当事者にわかりやすく工夫している。
- ・活動の選択が出来る。
- ・家族との信頼関係が出来ている。

- ・設備について、活動しやすい様に工夫出来る所はしていく。
- ・マニュアルの整備。
- ・保護者会の開催
- ・事業に係ることについてのご家族への周知について再度確認する。

### 事業所の改善への取り組み

- ・マニュアルの整備を早急に行い、ご家族に周知していく。
- ・不定期な懇談会は開催していたが、定期的な保護者会開催の実施に向けて準備をしていく。
- ・事業に係ることについて、ご家族に周知・理解して頂けるよう、文書や保護者会等での発信、或いは個人的な説明をする等、丁寧に進めていく。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

ご家族や職員からの評価やご意見を受けて、改めて事業所としての強みや改善点を知る事が出来ました。改善すべき点については具現化していき、より良い事業所を目指していきたいと思います。

事業所名 こどもの家 ムー

担当者 草間 利恵子